

# 麻疹(はしか)の予防接種を 受けましょう

## 麻疹(はしか)ってどんな病気？

麻疹(ましん)ウイルスの感染によっておこる病気です。感染力がとても強く、麻疹にかかると発熱や発疹だけでなく、抵抗力が低下して肺炎や脳炎などの合併症をおこしやすくなります。全国各地で小流行がみられ、県内でも学校などで集団発生がみられます。

麻疹にかかった場合の特効薬はないので、**ワクチンによる「予防」が大切です。**麻疹の予防接種をまだ受けていない場合は、なるべく早く接種を受けましょう。

## どんな症状がでるの？

うつってから1～2週間後に症状が出始め、次のような経過をたどります。

《初期》	38℃前後の発熱、せき、鼻水、結膜炎などの症状が出ます。2～4日目ごろ、熱が一旦下がりがけます。このころ、口の中(ほっぺたの裏側)にコプリック斑とよばれる白い小さな斑点が出ます。(いちばん他人にうつしやすい時期です)
《発疹期》	再び高熱が出るとともに、小さな赤い発疹が出ます。発疹は顔から出始め、3～4日間のうちに全身へと広がります。
《回復期》	熱が下がり発疹も色あせてきます。肺炎などの合併症がない限り、発症から7～10日後には全身状態が回復します。

## どんな治療をするのですか？

麻疹ウイルスに直接効く薬はありません。熱さましや咳止めなど、症状を軽くするための治療が主体です。肺炎や中耳炎などの細菌性の合併症を起こした場合は、抗菌剤が必要になります。それゆえに、**ワクチンによる予防が最も重要なのです。**

## 予防接種を受けたのに、かかったという人がいますか？

予防接種を受けると、大部分の人は麻疹に対する免疫(抵抗力)を獲得します。しかし、この免疫は接種後何年も経過すると少しずつ弱まります。獲得した免疫が弱まった状態で感染を受けると、残念ながら麻疹にかかってしまいますが、その場合でも症状は軽く、通常は合併症もないといわれています。

※ 過去に麻疹の予防接種を受けたかどうかは、母子健康手帳でわかります。不明な点があれば、各市町村の窓口にお問い合わせください。

※ よく似た病名に「三日はしか」がありますが、これは「風疹」のことです。